

「2016年東京オリンピック・パラリンピック招致フォーラムin山形」

・・・今、スポーツ界に求められること・・・

4月28日(火)に県スポーツ会館大会議室で開催され、120名の参加者でした。

「オリンピックの開催は、オリンピックを開催する年だけでなく、決定したときから世界の注目を集める」
「招致のプロセスですでにスポーツ界に大きな財産を残せる」
「トップ選手の育成を進める活火山型の強化方法は、しっかり理念を確立すればピラミッド型の普及になる」

講演 1



演題 「オリンピック・パラリンピックは日本に何をもたらすか」
講師 河野一郎氏
略歴 2016東京オリンピック・パラリンピック招致委員会事務総長
医学博士
東京医科歯科大学在学中はラグビー選手として活躍。
1999年に筑波大学教授に就任。
ソウル、バルセロナ、アトランタオリンピックの本部ドクターを務める。
2001年JOC理事に就任。同時にアンチドーピング機構設立に貢献。
2006年東京オリンピック招致委員会事務総長に就任。

講演 2



演題 「新しいスポーツ法制定の意図と意義」
講師 遠藤利明氏
略歴 2016東京オリンピック・パラリンピック招致委員会議員連盟事務局長
スポーツ議員連盟幹事長代理
山形県ラグビーフットボール協会会長
衆議院議員
中央大学法学部卒業(ラグビー部)
1983年県議会議員
1993年衆議院議員初当選
2006年文部科学副大臣就任

トーク



コーディネーター 勝田 隆氏
略歴 2016東京オリンピック・パラリンピック招致委員会計画専門委員会委員
JOC情報・医・科学専門委員会副委員長
山形県スポーツ振興審議会委員
仙台大学教授
筑波大学体育専門学群卒
ラグビー高校日本代表監督・日本ラグビー協会強化委員長などを歴任
現在、JOC情報・医・科学専門委員会副委員長



パネリスト 池田めぐみ氏
略歴 山形県体育協会スポーツ指導員(フェンシング)
JADAアンチドーピング活動委員
筑波大学大学院卒業
米沢興譲館高校3年時にジュニア世界選手権出場
アテネオリンピック出場
北京オリンピック出場15位



(財)山形県体育協会